議会だより

西脇市

95

2026.11.1

特集 令和８年度西脇市高校生議会

～西脇市の将来を担う、未来のリーダ達が集結～







議会だよりは
このコードからも
ご覧いただけます。

高校生議会・・・・・・・・・・・・・・ 2
常任委員会の活動・・・・・・・・・・・ 6
審議結果一覧・・・・・・・・・・・・・ 9
議会と語ろう会・・・・・・・・・・・・ 10
一般質問・・・・・・・・・・・・・・・ 12
まちかどレポート・・・・・・・・・・・ 20

令和８年度 西脇市　高校生議会を開催

～西脇市の課題や将　来について質問～



８月６日㈭にリハーサル、８月７日㈮に議員による一般質問が行われました。未来より、主権者としての権利を理解し、政治また、西脇市の課題や将来について考えるすることを目的としています。

高校生議会本番を開催し、16人の高校生を担う高校生が模擬議会を体験することにや議会への関心を高める機会としました。ことを通し、西脇市への愛着と誇りを醸成



西脇高等学校・西脇工業高等学校・西脇北高等学校から16人の高校生議員が選出されました。





７月24日　第１回ワークショップ in 西脇工業高等高校





７月29日　第２回ワークショップ in 西脇高等高校

高校にて高校生議員と市議会議員でワークショップを行いました。

はじめにプロジェクターを使って議会の仕組みや高校生議会の目的等を説明しました。

ワークショップでは、高校生議員が日頃感じていることについて、市議会議員と意見交換し、高校生議員が議場で行う一般質問の通告書を作成しました。

高校生ならではの着目点には、市議会議員一同改めて考えさせられ、有意義な意見交換となりました。



議員席には高校生議員が着席し、普段、市長や部長が座る席には、市議会議員が着席しました。

質問できることへの期待と緊張感のある雰囲気で高校生議会が始まりました。



拍手で迎えられて、高校生議員が入場しました。

少し緊張した面持ちですが、堂々と入場しました。



本番終了後は、緊張感も解けて、なごやかに記念撮影を行いました。





竹内崇真 議長（西脇）



廣瀬梨琴 議長（西脇北）

徳田瑛斗 議長（西脇工）

当日は各校から選出された３人の高校生議員が議長を務めました。

～ 高校生議員が議場に登壇　市議が全力で答弁 ～

①テーマ
②一言コメント
③答弁議員

高校生議員による一般質問のテーマを紹介します。



①郷土資料館をきっかけにドウジアムの利用者を増やす
②話し合って、目標に向かって突き進んでいく、良い経験になりました。
③藤原秀樹議員

平井羽空議員（西脇）



①国際交流事業への若者の参加促進と情報発信について
②自分たちの意見を誰かに伝える、普段できないような体験ができて良かったです。
③寺北建樹議員

徳田瑛斗議員（西脇工）



①旬菜館を盛り上げよう！
②議員さんと色々話せて、良い経験になりました。参加して良かったです。
③高瀬弘行議員

三宅雄大議員（西脇）



①高校生が安心して通学できる道路環境の整備について
②地域の課題を知り、高校生の意見がまちづくりにも反映されるとても良い経験になった。
③長谷川智春議員

武内詩楽議員（西脇工）



①観光スポットをめぐる日曜日限定のシャトルバスを運行してはどうか
②西脇市のより深いことを知れたので、色んなところに訪れたいと思いました。
③藤原哲也議員

森脇帆乃花議員（西脇）



①その通学路、本当に安全ですか？
②地域の課題を考える機会になったし、議会の仕組みにも関心を持てました。
③林　晴信議員

梨木麻白議員（西脇工）



①西脇市駅の駐輪場の放置自転車及び防犯カメラについて
②優しくて面白い議員さんたちと一緒にこの議会を作り上げることができて、楽しかったです。
③浅田康子議員

宇仁菅未菜議員（西脇）



①「待つ通学」から「帰れる通学」へ
②西脇市について考える良いきっかけになりました。参加してよかったです。
③岸本年裕議員

小林敬志議員（西脇工）



①登校時の降車場所として、学校周辺の市の施設を利用できないか
②西脇市政について、議員の方々と一緒に考えて楽しかったです。
③吉井敏恭議員

大地りあ議員（西脇）



①学生が集まれる機会の拡大を
②自分で考えた意見が議員の人に伝えられて良かったです。
③村岡栄紀議員

藤原琉衣議員（西脇北）



①高校生が西脇市の魅力を発信する動画やWebサイトを作らせていただけないか
②西脇高校の８人の代表に選ばれて光栄です。これからの将来につなげていきます。
③馬場智大議員

竹内崇真議員（西脇）



①黒田庄の交通をもっと便利に！
②西脇市について、深く考える機会がなかったので、難しかったけど、楽しかったです。
③巽　泰議員

東田優希議員（西脇北）



①空き家を負の遺産にしないために
②たくさんお話をさせていただいた中で自分なりの学びがたくさんできたので、楽しかったです。
③森脇久夫議員

西村莉帆議員（西脇）



①交流機会の充実について
②前に立つ機会が少ないので、緊張しましたが、すごく楽しかったです。
③杉本佳隆議員

廣瀬梨琴議員（西脇北）



①市内の川に流れ込む色のついた排水、悪臭を放置しておいてよいのか
②不安でしたが、議員さんが、分かりやすく教えてくださったおかげでとても心強かったです。
③藤本留実議員

近澤心音議員（西脇）



①高校生として暑さ対策にのぞむこと
②今回は２回目で、前回と違った課題が見つかりました。西脇市がこれからも良い街であったら良いなと思いました。
③高瀬　洋議員

藤原来光議員（西脇工）

高校生議員、学校関係者の皆さ　んのご協力に感謝いたします。

高校生議会の会議録はこちらから→

常任委員会の活動

第115回９月定例会を開催しました。
各常任委員会で議論した主な内容は、次の通りです。

９月 定例会

総務産業常任委員会

議案第51号　認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定

地方自治法施行規則の改正で条番号が変わるため、条例の引用部分を改めるもの。内容の変更はない。

議案第52号　市税条例の一部を改正

国の税制改正に伴い、市税条例の一部を改正するもの。

議員　**固定資産税の免税点の引き上げにより、家屋・償却資産それぞれの減収額はいくらぐらいと見込んでいるか。**

行政　固定資産税の免税点を、家屋は20万円から30万円、償却資産を150万円から180万円に引き上げることにより、家屋が約366万円、償却資産が約565万円の減収となる。



予算常任委員会

議案第53号　令和８年度一般会計補正予算（第３号）

中小事業者等原油価格等高騰対策事業　9,500万円

原油価格等高騰の影響を受ける中小事業者に対して、事業継続を支援するため、光熱費及び燃料費の一部を補助するもの。

議員　**申請から補助金等の交付までの期間は。**

行政　１か月程度を予定している。

議員　**農業所得を主たる収入とする事業者も対象となるのか。**

行政　年間売上高　120万円以上などの要件を満たす場合は対象となる。

黒田庄総合運動公園管理事業　805万円

スポーツトラクターを更新するもの。

議員　**他の施設でのスポーツトラクターの使用は可能か。**

行政　調整が必要となるが、可能である。

議案第53号に

賛成　高瀬　弘行

議案にある原油価格等高騰対策について、これまで対象の限定や予算不足により、支援を受けられない事業者が生じる課題を指摘してきた。今回は対象を広げ、必要な事業者に支援が届く制度であることを評価



決算特別委員会

議案第55号　令和７年度一般会計歳入歳出決算の報告について

公共交通対策事業　10,418万円

議員　**「むすぶん」のお断り件数は。**

行政　令和４年度に１日あたり約20件まで増加したが、現在は平均7.2件である。代替え手段としてコミュニティバス等の利用を案内している。件数は想定の範囲内である。

議員　**加古川線通勤･通学補助は新規利用者増につながっているのか。**

行政　令和6年度 59人（通学のみ）から
令和7年度106人（通勤･通学）に増加した。
JR西日本兵庫支社長からも「加古川線においては定期券の利用者が大きく増えたことが特徴」との報告があった。

こども未来応援事業　1,080万円

議員　**この事業の市民の利用状況は。**

行政　交付率が54.9％、利用率が43.6％である。

議員　**所得制限をなくす考えはないのか。**

行政　まずは事業の周知を進め、効果的な事業の推進に努めていきたい。

議員　**所得制限は維持した上で、対象となる学年の引下げについても検討してほしい。**



日本のへそ日時計の丘公園維持管理運営事業　6,781万円

議員　**数年後には基金残高が枯渇する。今後の方向性を早期に検討する必要があるのではないか。**

行政　指定管理者とも協議し、施設を少しでも長く利用できるよう努める。

議員　**農村との交流や、交流人口の増加の観点から今後の基本的な運営方針は。**

行政　宿泊者等に対して市内周遊の促進と消費の拡大。利用料金の改定も検討する。



にしわき学力向上事業業　3,843万円
～英語検定受検料助成について～

議員　**英語検定では上位級挑戦の生徒がいる一方、全国学力調査では、結果が全国平均を下回っている現状をどう分析しているのか。**

行政　学力の上位と下位に２局化が見られるものの、英語の結果は、他教科と比較して全国平均に近い状況であり、助成の成果は現れている。

議員　**授業の理解度と全国学力調査の結果との間に乖離があり、要因分析し授業の理解度を学力向上に結び付けてほしい。**



議案第55号に

賛成　林　晴信

住民・保護者との合意形成を欠いた統合関連委託料の計上には反対したが、９月補正で減額され、不適切な執行経費は決算から除外された。今回の教訓を今後の統廃合に生かすよう求める。

議案第56号
令和７年度西脇市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

県内保険料率統一と財政運営の方向性についてを中心に討論を行った。

議案第56号に
賛成　岸本　年裕

令和12年度の県内保険料率統一を見据え、市民の急激な負担増を避けるため段階的な税率調整を進め、基金も健康増進などに有効活用し、安定した国保制度を維持することが重要と考え、本決算に賛成する。

議案第56号に
賛成　杉本　佳隆

被保険者減少の中、国保財政を安定運営したことを評価する。基金の適正水準を検証し、保険税負担の抑制、健康づくり、医療費適正化を進め、将来にわたり持続可能な国民健康保険制度となるよう求めるため、賛成する。

議案第56号に
賛成　吉井　敏恭

医療費インセンティブにより７年度は１億355万円の歳入がある。一部を被保険者に還元する国保ウエルネスポイント事業が実施されている。12年度、県下保険料率完全統一に向け事業のさらなる展開に期待し、賛成する。



議案第56号に
反対　馬場　智大

基金が近隣市で最大規模に達しながら、税率引上げと基金の積増しが続いた。基金は受診者だけでなく被保険者全員の負担軽減に活かすべきで、引上げの前にまず活用を検討すべきであり、認定に反対する。

議案第56号に
反対　藤本　留実

物価高騰により市民の暮らしが厳しい状況にある中、８億円超ある基金を有効活用し、市民の負担を少しでも軽減する余地があったのではないかと考え、本決算には反対する。

議案第56号に
反対　高瀬　弘行

約８億２千万円の基金のうち1,800万円を活用すれば、国保税の引上げを避けられると修正案を提出したが否決された。また、特定健診受診に際して、マイナカードの有無による給付額に差を設けることは差別的扱いと考え、反対する。

議案第56号に
反対　寺北　建樹

県統合に向けて、急激な引上げ（5～6万円）を避けるために選択した結果、累計10万円超の負担となる。これは予想の範囲内。理事者は安全運転を常とするが、これに盲従するのであれば、議会は不要であると考え、反対する。

９月定例会議案審議結果一覧　●全員一致で可決した議案

議案番号	議案名
委員会提出議案第2号	アメリカ、イスラエル及びイランの軍事行動即時停止と外交による平和解決を求める決議
議案第51号	認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
議案第52号	市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第53号	令和８年度一般会計補正予算（第３号）
議案第54号	令和８年度介護保険特別会計補正予算（第２号）
議案第55号	令和７年度一般会計歳入歳出決算の報告について
議案第57号	令和７年度学校給食センター特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第58号	令和７年度老人保健施設特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第59号	令和７年度公営墓地特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第60号	令和７年度介護保険特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第61号	令和７年度茜が丘宅地供給事業特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第62号	令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第63号	令和７年度太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の報告について
議案第64号	令和７年度水道事業会計決算の報告について
議案第65号	令和７年度下水道事業会計決算の報告について
議案第66号	令和７年度病院事業会計決算の報告について

●賛否の分かれた議案　（○・・・賛成　　×・・・反対）

議案番号	件名	馬場智大	藤本留実	巽泰	長谷川智春	藤原秀樹	岸本年裕	藤原哲也	杉本佳隆	森脇久夫	高瀬弘行	吉井敏恭	村岡栄紀	高瀬洋	浅田康子	林晴信	寺北建樹
議案第56号	令和７年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の報告について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×

（議長は議事進行のため採決には加わりませんが、賛否同数の場合は議長も賛否の表明をします。）

ようこそ！西脇市議会へ



長崎県長与町　議会運営委員会
７月９日（木）
議会運営の取組について



養父市　議会改革推進特別委員会
「京都府向日市議会議員　有志（2名）」
７月31日（金）議会改革について



香川県観音寺市　議会運営委員会
10月1日(木)
議会基本条例、市民参画制度、議会機能の強化、議会BCPについて



茨城県牛久市　市民クラブ等
10月８日（木）
議会改革の取組について

全国から多くの議会のみなさんにお越しいただき、ありがたい限りです。
これからも互いに情報交換を行いながら、切磋琢磨してまいります。

令和８年度 議会と語ろう会

７月４日から８月17日 まで 市内９会場で開催

市政の報告と意見交換を行う「議会と語ろう会」を開催しました。議員定数を共通テーマに、学校統合、公共交通、地域クラブ、地域の維持など、暮らしに直結する様々なお声を伺いました。
いただいたご意見は今後の議会活動と政策提言に生かしていきます。

上戸田　7月4日（土）

給食の質と議会の役割を考える

給食費無償化後も、食材と栄養面の質を維持してほしいとの声がありました。議員定数は現状維持と削減の両論がありました。



高松町　7月11日（土）

交通の不安と地域維持への支援

めぐリンが走っておらず、免許返納後の移動が不安との声がありました。中学校給食費や学校統合、草刈り支援も話題となりました。



下戸田　7月11日（土）

議員活動をもっと見える形に

人数よりも議員の資質や活動内容が重要との意見が出ました。学校統合では子どもの視点、教育予算、ごみ出しルールの周知も求められました。



上比延町　7月12日（日）

西脇市の未来像を語ってほしい

定数の増減だけでなく、市の未来を議論してほしいとの声がありました。統合後の通学、むすブン、地域経済、河川愛護への支援も話題となりました。



南旭町　7月16日（木）

子どもの移動も公共交通の課題

地域クラブへの移動手段がなく、参加できない子どもが出るとの指摘がありました。議員定数、通学時の熱中症対策、公会堂再整備も話題となりました。



野村町１区　7月23日（木）

市民の声を吸い上げる活動を

定数問題よりも、市民の声をどう活動へつなげるかが重要との意見がありました。旧校の校歌を残す提案や地域クラブ参加費、狭い道路の拡幅も話し合われました。



東本町　7月25日（土）

地域クラブの参加機会を守る

地域クラブの受け皿や送迎負担、移動手段がない子どもへの懸念が示されました。若い世代との意見交換、廃校跡地、高齢者の移動も課題となりました。



落方町　7月25日（土）

予防や食の安全にも目を

健診ポイント制度について質問がありました。

早期発見だけでなく、食育や安全な食、健康維持にも力を入れるべきとの提案がありました。



野村地区女性の会　8月17日（月）

女性と若い世代の声が届く議会へ

女性議員や若い議員が増えたことを評価し、必要であれば定数16人を維持してよいとの意見がありました。学校統合工事中の避難所、西脇市駅の整備、不登校の子どもを支える校内サポートルームや「はればれ教室」も話題となりました。



■ 議会と語ろう会の歩み

平成22年	平成27年	令和5年
市内８地区を対象に「議会と語ろう会」を開始しました。	市内80自治会を個別に訪問。年間40自治会を回り、２年間で一巡しました。	通年開催へ移行し、消防団、PTA、各種団体にも対象を広げました。

市民の声を政策へ

会場で寄せられた意見や提案は、担当班で整理し、班長会議や常任委員会で検討します。必要に応じて所管事務調査、一般質問、政策提言につなげ、市政へ反映できるよう取り組んでいます。

「議会と語ろう会」は、今年度も引き続き市内各地で開催していきます。皆さんからいただく声が、これからの議会活動や市政への提言につながります。お近くで開催の際は、ぜひご参加いただき、率直なご意見をお聞かせください。



ここが聞きたい！ 一般質問

一般質問は、議員個人が自身の考えのもとに提案や課題を行政に投げかけ、市の見解を市長や教育長、部長から聞き、政策討論をする重要な場です。
今回は、12人が市民生活にかかわることについて質問や提言を行いました。

テーマは自由
質問内容は、議案とは関係なく議員が自由に決めることができます。

制限時間は60分
１人あたりの制限時間は、市長等からの答弁も含めて60分以内です。

ホームページにも掲載
質問項目を事前にホームページに掲載。傍聴者にも配布しています。



地域住民による草刈りの安全確保

録画配信はこちら

巽　　泰

問 人口減少や高齢化が進む中、河川や道路、農地周辺などの草刈りは、地域住民にとって大きな負担となっている。刈払機安全講習への参加促進やラジコン草刈機などの機械化、市と地域との役割分担を含め、今後どのように支援していくのか。

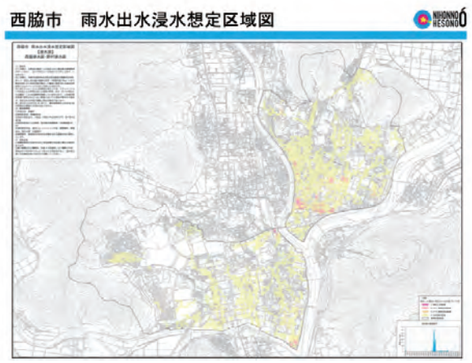
答 地域の生活環境を守るために、行政による対応に加え、地域の皆様による共助の取組も重要である。草刈りについては、地域の負担軽減のため、ラジコン草刈り機や多面的機能支払交付金を活用し地域の活動を支援するとともに、市と地域が連携して、継続的に作業を行うことができる枠組みづくりに取り組む。

内水氾濫への備えと浸水対策

問 市が公表した雨水出水浸水想定区域図では、対象区域の約３割に浸水の可能性が示された。一方、現在の区域図は市内全域を対象としたものではない。黒田庄地区含め、必要な地域について今後どのように内水氾濫リスクを把握、可視化していくのか。

答 今後は、住居や都市機能が集積し、浸水時の影響が大きい市街化区域を優先的に雨水出水浸水想定区域図の作成を進め、内水氾濫リスクの可視化に努める。

また、黒田庄地区を含む市街化区域外の地域についても、過去の浸水実績や地形、排水施設の状況等を踏まえ、対象区域の拡大を検討していく。



西脇市の内水出水浸水想定区域図

市民への商品券給付方法はこれでいいのか

録画配信はこちら

高瀬　　洋



問 今年度のプレミアム付商品券について、申込みは６月末で締切だが、デジタル商品券と紙の商品券、それぞれの応募人数はどういう状況か。また、事業を実施する経費率を問う。

答 応募状況については、６月１日から30日までの申込期間にデジタル商品券が6,866人、紙商品券が8,740人、合計１万5,606人の申込みがあった。９月の補正予算で3,500万円減額し、補正後の予算額を２億500万円とし、発行総額を５億1,000万円と見込んだ。補正後の予算額２億500万円の内訳は、プレミアム分が１億7,000万円、必要経費が3,500万円となり、必要経費の割合については約17％である。発行総額５億1,000万円に対しての必要経費率は、約6.9％となる。

問 プレミアム付商品券ではなく、プレミアム分だけを市民に直接給付する方式を採用した自治体もある。この方法は、市民の申込みが不要となるため、経費を抑えられると考える。公平性や予算の有効活用の観点からも、申込みや抽選を必要としない「プレミアム分の市民への直接給付方式」も検討に加えるべきと考えるがどうか。

答 令和８年度の物価高騰対策の検討に際しては、全市民を対象とした地域商品券の交付についても検討したが、「プレミアム率50％の地域商品券の発行」に「非課税世帯等に対する地域商品券の交付」を組み合わせて実施することとした。地域商品券の交付に必要な経費は、総事業費の10％以上と見込まれ、プレミアム付地域商品券発行事業の方が事業効果が高いと判断している。



２万円で３万円分の買い物ができるプレミアム付商品券

看護師の確保と働きやすい職場づくり

録画配信はこちら

岸本　年裕



問 多岐にわたる診療科を有する総合病院として、専門性が高く、日々の緊張感も大きい職場だからこそ、看護師の負担は大きい。そのような中、「医療行為以外の業務」もある。現在、現場の看護師が担っている「医療行為以外の業務」はどの程度の割合を占めているのか。また、それらが看護師の負担になっている現状をどのように把握しているのか。

答 看護師が本来担うべき医療・看護行為以外の、いわゆる「周辺業務」の状況は、一般的に医療機関における看護師の業務時間のうち、薬剤や物品の搬送、ベッドメイキング、各種事務手続きなどの周辺業務が、全体の約２割から３割を占めていると言われており、当院においても、同様の傾向にあると分析している。

問 看護師をはじめとする医療スタッフの働き方改革を力強く推し進めたその先に、西脇病院が目指すべき「選ばれる病院」、「働き続けたい病院」としての将来ビジョンについて、市長の考えを問う。

答 現在、医療スタッフの不足に加え、人件費や物価の高騰など、極めて厳しい経営状況に直面している。西脇病院が目指す将来ビジョンは、働く職員にとっては「ここで医療に従事できて良かった」と誇れる職場であり、市民の皆様にとっては「この地域に西脇病院があって本当に良かった」と心から信頼していただける職場である。

職員から「選ばれ、働き続けたい病院」の実現を目指し、今後の進捗をしっかりと見守りながら、必要な支援に努める。



西脇病院



系統用蓄電池設備の被害対応と市独自規制を

藤原　哲也

録画配信はこちら

問 和田町で発生した20kwh以上の系統用蓄電池設備による騒音や高周波での睡眠障害等の健康被害に対し、市としてどのように現状を把握し、いつまでに具体的な対応を実施する計画か、今後の考えを問う。

答 和田町に設置された系統用蓄電池設備については、令和８年６月、近隣住民から騒音について相談を受けている。この系統用蓄電池設備は、電力供給の安定化や再生可能エネルギーの有効活用等に寄与する電気工作物であり、主な法的規制や届出の窓口については、経済産業省となっている。現在の法制度上では、市や県に対する直接的な設置届出の義務が設けられていないため、実態や稼働状況を把握することは困難な状況である。今後は、近隣市町や県と連携しながら、実効性のある対応策について協議を進めていく。

問 今後、20kwh以上の系統用蓄電池設備の新規参入の増加が想定されるが、国の法的規制不足や地元説明会の必要性を踏まえ、市民の静穏な住環境を守るために西脇市として独自の指導要綱等を制定すべきであると考える。また、国の制度との狭間で市民が苦しむことのないよう、直接的な要望活動を行う考えはないのか問う。

答 系統用蓄電池設備を巡る様々な課題については、本市単独の事例にとどまらず、同様の課題に直面している近隣市町とも情報を共有し、連携していく。その上で、国や県に対し、住民への事前説明や統一的な安全・騒音基準の整備など、法的な規制の早期確立に向けた働きかけを行う。



住民の住環境を守れ



こども性暴力防止法施行前の体制整備を問う

藤本　留実

録画配信はこちら

問 こども性暴力防止法の施行に向け、市立小中学校や認定こども園における犯罪事実確認や、学校部活動の地域展開に伴う指導者等への研修など、施行に向けた準備や進捗状況について問う。

答 犯罪事実確認については、法施行後の新規教職員等は従事前に、現職教職員等は３年以内に実施することとなっている。性暴力への理解を深め、未然防止を図るため、教職員等に対して研修を実施するなど、必要な準備を進めている。

問 子どもや保護者が性暴力等の被害について安心して相談できる環境と、相談窓口の周知が重要になる。関係機関との連携、プライバシーの保護や安全を守る体制について市の考えを問う。

答 市として、各小中学校、認定こども園、児童館等、所管課においても相談を受け付ける体制を整え、外部の相談先としても、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター「#8891」、警察の性犯罪被害相談電話「#8103」、ＳＮＳの相談機関を含め、本人や保護者等に周知していく。

問 市長が掲げる「こどもまんなか・子育て応援まちづくり」を本当の意味で実現し、地域全体で子どもを守る意識を高めることが重要と考える。今後どのように取り組むか市長の考えを問う。

答 こども性暴力防止法の施行を契機として、家庭、学校園、地域、事業者等が、それぞれの立場で子どもの人権を尊重し、子どもを見守る仕組みを一層強化するとともに、子どもの声を丁寧に受け止め、安心して成長できる「こどもまんなか・子育て応援まちづくり」を推進していく。



子どもたちが安心して成長できる西脇市へ

市民参加予算で共創のまちへ

馬場　智大



録画配信はこちら

問 市民の関わりを「聞く参加」「担う参加」「決める参加」の三段階に分けた場合、本市のどの取組がそれぞれに当たると考えるのか。地域自治協議会の一括交付金や市民提案型まちづくり事業補助金の位置づけも含め、市の認識を聞く。

答 「聞く参加」は、パブリックコメントや市民アンケートなどにより市民に意見を聴く機会を設けている。「担う参加」は、審議会等への市民の参画や地域自治協議会などの活動を通じて、市民がまちづくりを担う機会を設けている。「決める参加」は、地域自治協議会が一括交付金の使途を地区の裁量により決定していることなどが挙げられる。

問 愛知県新城市では、若者議会が提案した事業が議会の議決を経て市の予算となり、参加した若者から市職員や市議会議員も生まれている。同様に市民へ予算提案権を委ねる仕組みについて、まちづくり推進審議会に諮問し、本市にふさわしい形を検討する考えはないか。

答 新城市の若者議会については、若者が地域について議論するだけではなく、予算額約１千万円について、予算提案権を持ち、市長への答申を経て、市議会の議決により市の事業として実施される仕組みとなっている。このような仕組みの導入に当たっては、本市に合った事業スキームなど、検討すべき様々な課題があると考えている。一例として、子どもたちが自分の意見を表明する場として、「西脇こども会議」を開催している。既存の取組も考慮し、西脇市まちづくり審議会への諮問も含め、先進事例について研究していく。



さらなる参画と協働のまちへ ― 担うだけでなく、決める一員に



加古川水系野尾谷川仮設堤防の改修計画は

森脇　久夫

録画配信はこちら

問 野尾谷川越水対策としての改修計画の現状と県・国への要望は

答 平成16年の野尾谷川における越水原因は、加古川本川の水位上昇によるものであったことから、その解消に向け、加古川本川の流下能力を高める河川整備を精力的に進めていただけるように、県へ要望していく。また、整備に必要な財源確保に向け、国土交通省及び財務省へも強く要望していく。

物価高騰等に対する農家支援

問 農家を取り巻く物価高騰と米買取価格下落に対する支援策は

答 肥料、燃油、農業用機械などの農業精算に必要な資材価格は、依然として高い水準にあり、農業経営を圧迫している。

今回、９月補正予算において、中東情勢の不安定化等の影響による事業者への物価高騰対策事業を実施する中で、農家を含めた生産コスト上昇への支援を行うこととしている。

令和７年産米の価格上昇を受けて、作付け内容を変更した農家もあり、８年産の買取価格が下がると、収入と生産コストの両面で厳しい状況になると認識している。一方、令和８年産米買取価格の概算金については、政府備蓄米の買戻しを含めた需要動向を踏まえ、「持続可能な生産に向けたコスト指標の水準を目指した追加払い」を検討するＪＡもあるとの報道もある。今後の米価格や追加払いの動向に注視しつつ、今回の補正予算による支援を実施していきたいと考えている。



持続できる米作りを



河川・道路・東播丹波連絡道路の整備促進を

録画配信はこちら

浅田　康子

問 県管理の河川で川底をさらって土砂などを取り、流れの低下を防ぐ河床掘削の実施状況は。

答 県が計画的に進める河床掘削は、加古川本川の「西脇工区」で中郷橋下流から福地川合流点までの約3.1km区間で進められ、今年度は鹿野大橋上流左岸付近で実施すると聞いている。杉原川では、沖田井堰から和田井堰区間において、護岸整備と河床掘削を実施すると聞いている。

問 県管理の道路には歩道未整備である区間や、通学時に危険を感じる箇所が依然として残っている。道路整備、安全対策、交通事故防止対策を市は県にどのような働きかけをしているのか。

答 小中学校から寄せられた危険箇所について西脇市通学路の安全確保に係る連絡会議で合同点検を実施し、対策の検討をしている。その検討結果をホームページで公表し、必要な対策工事等を実施している。

問 西脇北バイパス開通後、側道の上戸田交差点周辺の交通環境が大きく変わった。進行方向が分かりにくく、危険である。安全な交通を確保するため国への働きかけ、国の対応は。

答 上戸田交差点をはじめ、利用者から、「危険な箇所がある」「通行方法が分かりにくい」等の意見がある。市は、現地の状況を確認し、利用している市民の感覚についても国に伝え、案内表示等の改善と抜本的な対応となる側道整備の早期実現を要望している。国の対策で、短期的には、工事看板等の設置による案内強化、中期的には、路面標示や標識の改善について検討し、可能な対策から実施する予定であると説明を受けている。



西脇北バイパス側道の整備促進を要望



「学びへのアクセス」を保障する支援

録画配信はこちら

林　　晴信

問 不登校児童生徒への支援は、学校復帰率だけで評価するのではなく、学習機会の確保、支援機関とのつながり、本人に合った居場所への参加、進路決定、社会との接点の維持など、「学びへのアクセスの保障」と「社会的自立」を重視した成果指標へ見直すべきではないか。

答 教育委員会では、市内学校での支援が社会的自立につながっているのかを検証するため、中学校で不登校の生徒が、卒業後進学先で適応できているのか追跡調査を行っている。今後も学習機会の確保や居場所・支援機関とのつながり、社会的自立へのステップなど多面的な視点を考慮した成果指標のあり方について検討を進めていく。

問 校内サポートルーム、はればれ教室、民間フリースクール等の支援が整いつつある一方、通いたくても移動手段がなく利用できない児童生徒もいる。交通費・送迎支援や公共交通との連携など、「学びへのアクセスの保障」を検討すべきではないか。

答 今後の不登校児童生徒支援の方向性は、一人ひとりの子どもが「学びを継続できているか」「社会や人と温かくつながっているか」「将来の自立に向けて自分に合った居場所を選択できているか」という「学びへの接続保障」と「社会的自立」をより充実させる段階にあると強く認識している。子どもたちがどのような状況でも多様な選択肢の中から、自分に合った学びや居場所を見つけ、安心して成長していけるよう、「学びの継続」を保障しつつ、学校・家庭・地域・関係機関がチームとなり、引き続き取組を進めていく。



不登校は対策から支援へ
（AI使用イラスト）

市民による救命活動の推進と物価高騰支援策

録画配信はこちら

高瀬　弘行



問 脳卒中の早期発見に有効な「ＦＡＳＴ」（顔のゆがみ、腕の麻痺、言葉の異常、発症時刻）の普及啓発を進め、健康に関係する集会などでの周知やＦＡＳＴパンフレットの全戸配布に取り組む考えは。

答 西脇消防署と市で開催した「救急フェア」においてＦＡＳＴの周知・啓発に取り組み、脳卒中の理解促進と早期受診につながるよう、努めていく。パンフレットの全戸配布は、脳卒中の早期発見、受診につながると考え、地域の身近な場所でチラシを配布し、普及啓発に取り組む。

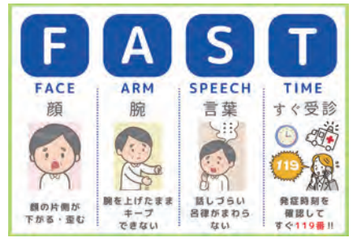
問 市民よる救命活動を推進する取組として、従来の救急ナイトスクールを発展的に見直し、心肺蘇生法・ＡＥＤに加え、脳卒中の早期発見「ＦＡＳＴ」などを一体的に学べる場として再開することは有意義な取組と考えるが。

答 「救急フェア」では、救急ナイトスクールの理念を受け継ぐボランティア団体による心肺蘇生法などの体験を行った。救急ナイトスクールと異なる形も含め、普及啓発の機会を設ける。

物価高騰対策の対象外世帯支援

問 物価高騰対策として水道基本料金の免除が実施されたが、その対象とならなかった井戸水利用世帯や共同住宅の入居者などの実態を把握し、必要な支援を求める。

答 水道未利用世帯数は把握しておらず、支援の対象とならなかった世帯数も把握していない。要件によって、支援内容に差は生じ得るが、様々な施策を複層的に実施することで、できるだけきめ細かな支援に努めたところである。



ＦＡＳＴを知って、脳卒中から命を守ろう



郷土愛と政治的中立性の確保

録画配信はこちら

藤原　秀樹

問 西脇市の歴史や文化を次世代へ継承するため、郷土資料館の学校教育での活用拡大、高校生との協働による情報発信・展示改善などの『郷土資料館活性化プロジェクト』を立ち上げてはどうか。

答 西脇高校の生徒と先生が来館され、郷土資料館の魅力を小中学生に発信する取組について、意見交換を行った。今後も学校や関係機関と連携し、高校生をはじめとする若者世代からの意見を反映できるような取組を通じて、魅力ある郷土資料館づくりに取り組む。

問 大規模災害に備え、自衛隊、消防、警察、医療機関、地域などの連携を強化し、定期的な大規模災害対応連携会議、オール西脇総合防災訓練、学校別防災運営計画の整備を求める。

答 西脇市には、地域防災計画、国民保護計画、水防計画などを審議する西脇市防災会議がある。西脇市防災会議は、国や県の災害対策の方向性、災害時の最も重要な指針となる西脇市防災計画の改定を協議していただいている。今後も、関係機関の委員の意見を各種計画やマニュアルへ反映させ、実効性のある防災体制の強化に努める。

問 学校での自衛隊学校支援メニューをモデル実施し、防災教育と職業理解を行ってはどうか。

答 現在、各学校では、消防や自治体、防災関係者、地域住民等と連携し、避難訓練や防災講話、地域の災害リスクに関する学習などをすでに実施している。そのため、現時点では、自衛隊の学校支援メニューを活用することは考えていない。



防衛省自衛隊防災訓練



西脇北バイパスを生かした観光ブランド戦略

杉本　佳隆

録画配信はこちら

問 西脇北バイパスの開通を「通過される西脇」から「わざわざ立ち寄る西脇」へ転換する好機と捉える。本市はドライブ目的の来訪が41.5％、道の駅の入込客数も36万人を超えている。既存の観光資源を磨き、食と播州織などを組み合わせ、市内への立ち寄りと観光消費につながる今後の誘客の取組を尋ねる。

答 西脇北バイパスの全線開通を契機として、播州織をはじめとする地域産品や食、地域の歴史・文化などを組み合わせ、西脇ならではの商品や体験の創出を図ることにより、道の駅をはじめとする観光拠点の魅力を高め、観光物産協会や事業者、地域と連携しながら、市内周遊の促進と観光消費の拡大を図っていく。



黒田庄町門柳山から流れる、岡の湧水池

問 黒田庄町門柳山の湧水を利用し、岡地区で米づくりが行われている。山から湧き出る清らかな水、岡の豊かな土、米を守り続けてきた農家の技という地域の誇りを生かし、門柳山の湧水で育てた米として、新たな地域ブランドを作ってはどうか。生産量が限られているからこそ、数量限定・地域限定、ここでしか買えないという希少性を付加し、新たな価値を生み出す取組を提案する。

答 市内には、各地域で米づくりに取り組まれている方々がいるため、市が主体的に特定地域の米を初のブランドとして位置付けることは、慎重になる必要がある。地域主体による農産物のブランド化については、情報提供や関係者間の調整、ＰＲ面等において支援していきたい。

Facebookで情報発信中！

フェイスブックでも市議会の活動を発信しています！ぜひご覧ください。

https://www.facebook.com/nishiwakishigikai

フェイスブックはこのコードからもご覧いただけます。



本会議、委員会中はインターネット中継（ライブ・録画）でもご覧いただけます。

ライブ中継（本会議）はこちら

ライブ中継（委員会等）はこちら

議会だより94号一般質問記事について

P.８の吉井敏恭議員の「クマの出没対策は、長期化が～」の問に対する答弁が問の文章になっておりました。
読者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

正しい答弁はこちらからご覧ください→

12月の定例会



日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24	25	26	10:00 27 第116回定例会（第１日）	28
29	30	12/1	2	10:00 3 第116回定例会（第２日）	9:30 4 文教民生常任委員会	5
6	9:30 7 総務産業常任委員会	9:30 8 予算常任委員会	9 委員会予備日	10	11	12
13	14	15	16	10:00 17 第116回定例会（第３日）	10:00 18 第116回定例会（第４日）	19
20	21 予備日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1/1	2

上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報はホームページなどでご確認ください。

文教民生常任委員会の行政視察

富山県砺波市「教育委員会」

【日　時】令和8年7月7日視察
【目　的】放課後児童対策事業（放課後こども教室等）の取組について

砺波市では「地域の子供は地域で育てる」を理念に、学校の空き教室や公民館を活用した「放課後こども教室」「土曜学習教室」「中学校放課後学習支援教室」などを展開されています。

参画人材：元教員、地域住民、大学生ボランティアなど
活動内容：安全な居場所づくり、自主学習支援、体験・交流活動
特筆点：元教員がスキルを生かして学習サポートを行うなど、地域全体で子どもを支える体制が構築されていました。





石川県かほく市「教育委員会」

【日　時】 令和8年7月8日視察
【目　的】 学力向上事業（独自調査・授業改善・家庭連携）

教育費に手厚い予算（一般会計の約16％）を配分し、ICTやスペシャルサポートルーム（不登校支援）の支援員等を配置。国・県に加え、小4～中3を対象とした「市独自の学力調査」と「i-check（質問紙調査）」を年2回実施し、学力と学級経営の両面から分析されています。

さらに、研究推進校の指定や研修による授業改善、「自学ノート」を活用した家庭学習の習慣化など、明確なPDCAサイクルを展開されています。





第26回

まちかどレポート「カレー喫茶 時」

@西脇市黒田庄町福地



お客様にホッとしてもらいたいとの店主の思いでできたお店。それを感じに訪ねてみてはどうですか。

@SHIKITANENOTOKI

店主・時本雅弘さんからのメッセージ

食材だけでなく食器、BGMにもこだわりを持っています。「味」に加え「見た目」「香り」「音」など五感で食事を楽しみ、ご自身の時間を取り戻しに来てもらえたら嬉しいです。

Q：カレー屋を始めようと思った理由は。

わが子でも食べられるようなスパイスカレーを作りたいと思い、カレー作りを始めました。

元々は機械系エンジニアとして働いていたのですが、脱サラして好きなことをして生きていこうと思ったのがお店を持った原点です。

Q：おすすめのメニューは。

「カレー2種盛（ココナッツチキン&レンズ豆）」を定番メニューとしています。定番カレーに「日変わりカレー」追加の「カレー3種盛」、「お子様カレー」などの他にも、チャイなどソフトドリンク、スイーツ類もご用意しています。

自分で作った無農薬のお米や野菜を食材の一部として提供しています。

Q：西脇市に思うことは。

旬菜館や道の駅では地元産のおいしい野菜も豊富に入手でき、食事を提供する立場としてはありがたい環境にあります。ただ、今農業に従事している方たちは高齢化が進んでいます。そのため一次産業を守る取組を行うことで、産業の持続性やまちづくりの活性化につながるように思っています。

Q：お店の名前の由来は。

自分の苗字をベースに、いくつかの候補を考えましたが、地元の人に愛されたい、来ていただきたいと思い、そしてなにより親しみやすさを考えて「時」という名前にしました。

Q：店を持って感じたことは。

地方にあるお店でよく聞くのは、市外からのお客様が多いというお話です。しかし、このお店を開いて感じるのは、西脇市内のお客様が多いということ。これはこの地に外食文化が根付いているからだと思っています。







2種盛



3種盛

発行 西脇市議会

〒677-8511　西脇市下戸田128番地の1
TEL：0795-22-3111　✉：gikai@city.nishiwaki.lg.jp

●発行責任者　西脇市議会　議長　村岡　栄紀

●編集／広報広聴特別委員会

委員長	岸本　年裕		副委員長	吉井　敏恭
委員	馬場　智大		委員	巽　泰
〃	藤原　哲也		〃	森脇　久夫
〃	高瀬　弘行		〃	高瀬　洋

西脇市議会　検索　西脇市議会のホームページもご覧ください